沖電気工業株式会社

https://www.oki.com/jp/

《将来に向けた取組方針》

生物多様性の危機は、温暖化が原因とされる気候変動、海洋プラスチック問題などの廃棄物の問題、化学物質による汚染などに起因しています。OKIは「環境チャレンジ2030/2050」を掲げ、ライフサイクルCO_2排出量の大幅な削減、SDGs達成への貢献について中長期の目標を定めて取り組んでおり、その活動を通じて生物多様性の保全に貢献していきます。

〈具体的取組み事例〉

本業での活動

社内（工場／オフィス）と商品を通じた環境負荷低減活動

気候変動の緩和：省エネの推進／再エネの導入
資　源　循　環：再資源化の推進
汚　染　予　防：化学物質管理

社会貢献活動

森　林　整　備：間伐・除伐・下草刈り（日本）1997年～
植 林 の 実 施：マングローブ植林を実施（中国）2018年～
　　国指定保護樹木の植林（タイ）2008年～

静岡県・群馬県での森林整備

タイでの植林

中国での植林

成果等　各活動で協働する自治体・NGO等との継続的なパートナーシップ。2018年には長野県および小諸市から表彰。

〈今後の課題等〉

製品やソリューションを通じた生物多様性保全への貢献

OKIは、IoTとAI技術、顧客基盤から得たノウハウを強みにデジタル変革を推進しています。社会インフラへのAI技術の適用に最適なAIエッジコンピューティングを実装し、社会課題の解決に貢献していきます。生物多様性保全は取り組むべき社会課題であると位置づけています。

社会貢献活動の裾野の拡大　より多くの社員が広く参加できる活動内容や社内周知の方法を検討しています。

〈社会に向けたメッセージ〉

OKIは「環境チャレンジ2030/2050」達成に向けての取り組みを通して、生物多様性の保全に貢献していきます。